

- 確率変数 X^2 について

X を確率変数とする

と, X の各値 x_i ($i =$

$1, 2, \dots, n$) を 2 乗す

ることによって定められる

X^2 も確率変数になる. こ

の場合, X^2 の期待値は

$$E(X^2) = \sum_{k=1}^n x_k^2 p_k \quad \text{となる.}$$

- 期待値と分散の間に成り立つ公式

$$m = E(X), \sum_{k=1}^n p_k = 1 \text{ であることに注意すると, 次の式が得られる.}$$

$$\begin{aligned} V(X) &= \sum_{k=1}^n (x_k - m)^2 p_k \\ &= \sum_{k=1}^n (x_k^2 - 2mx_k + m^2) p_k \\ &= \sum_{k=1}^n x_k^2 p_k - 2m \sum_{k=1}^n x_k p_k + m^2 \sum_{k=1}^n p_k \\ &= E(X^2) - 2E(X) \cdot E(X) + \{E(X)\}^2 = E(X^2) - \{E(X)\}^2 \end{aligned}$$

確率変数 X^2 について

X を確率変数とすると, X の

各値 x_i ($i = 1, 2, \dots, n$)

を 2 乗することによって定

められる X^2 も確率変数にな

る. この場合, X^2 の期待値

$$\text{は} \quad E(X^2) = \sum_{k=1}^n x_k^2 p_k$$

となる.

X	x_1	x_2	$\cdots \cdots$	x_n	計
X^2	x_1^2	x_2^2	$\cdots \cdots$	x_n^2	
P	p_1	p_2	$\cdots \cdots$	p_n	1

図 1 itemize 内

X	x_1	x_2	$\cdots \cdots$	x_n	計
X^2	x_1^2	x_2^2	$\cdots \cdots$	x_n^2	
P	p_1	p_2	$\cdots \cdots$	p_n	1

図 2 itemize 外